

事務連絡  
令和6年5月27日

管内バス・タクシー・トラック関係団体 殿

関東運輸局  
自動車技術安全部 保安・環境課長  
自動車交通部 旅客第一課長  
旅客第二課長  
貨物課長

### 低気圧と前線による大雨に備えた体制の確保等について

気象庁によると、前線が27日夜には東シナ海から九州へのび、前線上の低気圧が29日にかけて本州の南岸を東へ進み、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となり、太平洋側を中心に大雨となる所がある見込みです。

西日本では27日夜から28日にかけて、東日本や東北地方では28日から29日にかけて、雷を伴った猛烈な雨が降り、太平洋側を中心に大雨となる所があります。特に鹿児島県（奄美地方を除く）および宮崎県では、27日夜から28日日中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

これにより、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫への嚴重な警戒、落雷や竜巻などの激しい突風への注意が必要です。

また、フィリピンの東にある台風第1号は、発達しながら北東へ進み、29日には沖縄県の大東島地方に接近し、31日には伊豆諸島近海へ進みます。大東島地方では29日に暴風や大しけに、伊豆諸島では30日から31日にかけて大しけになるおそれがあります。

つきましては、貴会会員に対して、下記の点に留意するよう周知方よろしく願います。

### 記

- ・ 気象状況の把握に努め、輸送の安全確保に万全を期すこと
- ・ 社内における連絡体制を確保すること
- ・ 安全運行が確保できないおそれがある場合は、運休や運行計画の変更などの指示を行うとともに、利用者に対して運休や運行計画の変更などの情報を発信すること
- ・ 車両の退避など出水への事前対応を実施すること